

佐賀小児童の作品が東京の企画展に

佐賀小学校4年(取材当時)山本修平さんの作品が、東京で開催中の企画展「ユーモアてん。／SENSE OF HUMOR」に展示されています。

この作品は、卓球のラケットにパンツに見立てた風船をかぶせ、「たまには服を着てみたいーパンツをはいたラケット」と題し、ユーモアたっぷりに作られたもの。昨年開催された第30回Tシャツアート展の期間中に、審査員の原研哉さんが町内の小学4年生を対象に行った「特別じゅぎょう」を受け、後日図工の授業で作成されました。

その後、その作品がNPO砂浜美術館発行の広報紙「HIERAHI RATTIMES」の表紙を飾り、原さんが同企画展ディレクターの浅葉克己さんに紹介したことから、今回の展示が決まりました。

実際に作品を東京に見に行った



展示作品と浅葉さん、山本さん

山本さんは、「信じられなかったけど、本当に展示して嬉しかった」と話した。

ました。同展覧会は2121 D E S I G N S I G H T ギャラリー1&2(東京都港区赤坂)で6月30日(日)まで開催予定です。

高知ユナイテッドSCが合宿へ

高知ユナイテッドSCが3月13日(水)から15日(金)までの3日間、トレーニング合宿のため黒潮町を訪れました。

同クラブは四国サッカーリーグに所属し、JFLへの昇格をめざすチーム。今回は選手23名とスタッフ7名が参加し、トレーニングに励みました。

初日には、町関係者らによる歓迎セレモニーがネスト・ウエストガーデン土佐で開かれ、町からは文旦やイチゴが贈呈されました。

同クラブの大谷武文監督は、「今回の合宿では、1年間戦える体力作りとチームのコンセプト構築に



お土産を受け取る大谷監督(写真右)

向けてトレーニングをしたい。黒潮町の環境はとも良い。サッカーを通じて一緒に地域を盛り上げられたら」と話しました。

北郷春のウォーキング

4月7日(日)、暖かい日差しの中、北郷地区で「郷GOウォーキング」が開催され、町内外から75名が参加しました。

集落活動センター北郷を出発し、大近の広場までの片道約2・5kmの道程を、約1時間かけ、桜やツジを楽しみながら進みました。



手作りの看板と参加者ら

山の向こうに海が見える大近の広場へ到着すると、手作りのおにぎりや山菜の煮物、揚げた

ての天ぶらがバイキング形式で振る舞われ、参加者らは春の味に舌鼓を打ちました。

大井川地区の宮川一郎区長は、「たくさんの人に楽しんでもらえて良かった。今後もイベントなどを計画したい」と話しました。初めて参加したという女性は、「小さい子から大人まで、みんなまで、みんなで楽しめて良かった。外で食べるご飯はおいしい」と話しました。



春を感じる料理

トンガの子どもたちにランドセルを贈ろう ～ランドセルプロジェクトinトンガ～



2016年11月に開催された「世界津波の日高校生サミットin黒潮」がきっかけとなり、一昨年より婦人連合会・PTA連合会を中心に使用済みのランドセルをトンガ王国に送る取組が行われています。ぜひご協力をお願いします。



◆収集期間 5月24日(金)まで ◆収集場所 町内の小中学校
詳しくは、町公式ホームページをご確認ください。
<https://www.town.kuroshio.lg.jp>



伊与喜JVBC 優勝



4月6日(土)、7日(日)に高知県小学生バレーボール春季大会が開催され、伊与喜JVBCが優勝し、3月に開催された新人大会に続き公式戦で2連勝を果たしました。

